

あきやま子どもクリニックニュース2020年2月号



私の母は今月90歳になります。私も今月62歳になります。そして初孫は今年2歳になります。人の人生は重なり合いながら、受け継がれていることを感じます。誕生月位は、自分の人生をじっくりみつめてみようかと思えます。まだやってみたいことがたくさんあることに気づきます。

院長より



「アレルギー性鼻炎の減感作療法」 (舌下免疫療法)

アレルギー疾患の原因アレルゲンを投与していくことにより、アレルゲンに曝露された場合に引き起こされる関連症状を緩和する治療法で、一般的な対象療法と異なり、アレルギーを自然経過を改善させることが可能な治療法です。治療が可能なのは、スギ花粉症とダニ抗原によるアレルギー性鼻炎です。治療機関は3~5年かかりますが、現在2年近く対症療法をおこなっている方はご検討ください。当院で治療可能です。

Mama&Baby(産後ケア)



この時期、寒さと乾燥で皮膚のトラブルのある赤ちゃんが多くみられます。赤ちゃんの肌はとても薄くデリケートなので、日ごろのお手入れが欠かせません。お風呂から上がった後保湿タイムです。肌に合うものなら市販のもので大丈夫です。ケチらずにたっぷり使うのがコツです。朝のお着替えのときや日中も、気が付いたらさっと塗ってあげます。これですぐ改善されると思います。保湿をしても赤みが強くなったり悪化しているなと思ったら、小児科を受診してくださいね。(文責 酒井敏恵)

病児保育室便り



冬になるとインフルエンザや高熱などで小学生のお子さんが利用する事が多くなります。小学生が利用の時には普段あまり出ていない、オセロやトランプ、かるたなどを用意します。先日、部屋にある「あやとり」の本を見つけた小学3年生の男の子が「できるよ。やりたい。」と言うので、毛糸を用意し、一緒にいた6歳の女の子とやってみました。すると男の子はとても上手に四段ばしごを作ってくれました。6歳の女の子も少し難しそうでしたが、男の子に優しく教えてもらいながらやり、出来上がるととても嬉しそうでした。色々なおもちゃがある中、昔からある遊びの楽しさをお子さんから教えてもらえた日でした。(文責 千葉美香)

最近の流行っている病気

インフルエンザが流行しています。近隣ではA型が流行していますが、地区によってはB型も流行しています。嘔吐・下痢の急性胃腸炎(おそらくノロウイルス)や咳がひどい風邪もあります。高熱が続く場合にはプール熱もあります。

感染症として突発性発疹、溶連菌感染症、水痘があります。

新型コロナウイルスについて

ニュースで心配されていると思います。もし、接触した可能性がある場合や心配されている場合には、保健所に相談の上、医療機関の受診をおすすめします。情報は当院HPもご利用ください。

訪問看護ステーション

「買い物へ行ったら、保育室のお友達に声をかけてもらいました」と、ケアルームと訪問看護を利用しているKくんのお母さんから話を聞きました。Kくんの事を知ってくれている、声をかけてくれるお友達がいるということに、お母さんと一緒に喜んでしまいました。これはKくんの生活の広がりとしてすごい一歩だ!と思いました。今後もっと、Kくんの事を知ってくれるお友達や地域の人が増えて、Kくんの世界が広がっていくことを楽しみにしたいなと思いました。

(文責 梅田可愛)

今月の代診と休診



1日(土)	午前診療	宗像先生
12日(水)	午後診療	宗像先生
22日(土)	午前診療	宗像先生
26日(水)	午後診療	宗像先生
28日(金)	午後診療	宗像先生

木曜日早朝・午前診療は濱野先生です。
午後診療は宗像先生です。